

各位

2024年1月9日  
共英製鋼株式会社

## 山口事業所・東沖エリアの太陽光発電設備が稼働開始

共英製鋼株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 廣富靖以）は、山口事業所（山口県山陽小野田市、所長 国丸洋）に太陽光発電設備を設置し、2023年12月28日より稼働を開始しました。

当社グループでは、国内事業拠点の2030年のCO<sub>2</sub>排出量を2013年比50%削減する目標を掲げ、カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めています。

この方針に沿って、山口事業所内の県内最大級の最終管理型処分場を備える東沖エリアにおいて、太陽光パネルを設置しました。完成した発電設備は、パネル面積約11,985㎡、発電能力1,452kWであり、計画年間発電量は約1,610MWh、これにより削減されるCO<sub>2</sub>排出量（自家消費分）は年間約548トンとなる見込みです。発電した電力は、環境リサイクル事業を行う東沖エリア内のシュレッダープラントといった設備などに使用されます。

当社グループは、引き続き社会に貢献するエッセンシャル・カンパニーを目指し、鉄資源リサイクルを中核とした事業によるCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みも積極的に進めていきます。

お問い合わせ先：共英製鋼株式会社 経営企画部 ESG推進室（06-6346-5222）

以上



上空からドローンで撮影した太陽光パネル



12月末より順調に発電中